

大正十二年

1924

(2)

七月

大正十二年
(1924)

11. (金)

此日在免 雜務ヲ処理ス

12. (土)

朝八時半之兩 雜務処テ十一時退所

腹疾台治也 山田病院ニ行テ診察ニ受ケ健
腹前ノ苦ヲ

13. (日)

此日在免 大掃除 午後復習ナシ 午前一ツ海
岸ニ行ク

腹疾台大分愈シ

14. (月)

Pettyノ送付

改送七月号所載 摺田史倫文ノ送付

心ツルガ No. 16. 校訂^原稿ノ 校正ニ付ル

大島史ニ寄付 漢字ニ付 例ニ従フ

尾ニ付 4回 追加, 21ナリ

15. (火)

朝大晴書所
 校正の心魂の又堂、通送す
 依一時再賃金増田森卜大味明川久西向嶋史古幣
 暑中休暇今分心二十日向以二日央之、東在、現川事依
 羊謀世地二二、朝先尋此 純徳二時退散會
 依二時半、吃十山使胃東來付位在亦、以、可、從、來、
 經過、使、心、十、山、史、二、理、部、又、人、非、訪、査、出、付、故、永、次、也、
 査、の、十、山、史、二、買、取、り、奇、説、証、明、以、上、証、明、
 相、説、然、早、十、山、史、の、圖、新、以、向、ノ、果、意、ノ、旨、也、
 外、高、山、史、の、心、也、世、地、口、以、大、改、の、聖、令、
 今、差、支、十、山、史、一、十、山、史、意、向、十、山、史、
 正、向、向、以、位、然、年、望、柱、死、中、
 中、送、外、
 中、送、外、
 中、送、外、

水谷君海史の Bercharl 通信賢奉福、出候
 時指則の人社研近「印刷、瓦地」名通事

16. (水)

朝山田協設、行ノ換量、然早畑轟列配作
 前ノ印二二二三

純徳散見、又 H.W. J.S.W. 中、Artikel „Petty“
 及 Marx, Mehrwerttheorie 中、Petty、
 大島史 - Bercharl, Kapital. 水谷史記五編ノ
 送レ
 午後二時退散の所

17. (木)

朝日古史 職務處理
 山崎史記部史一守史、復姓、送付 所要ノ依候

18. (金)

朝八時半書所
 廣海軍工廠、海軍三計大尉天、中、行、嶋、史、來、
 訪、の、工、廠、
 代、意、見、ノ、送、
 經濟主稿(東大)、長谷田素二君來訪、
 意、ノ、羊、謀、

依一時臨時事務書所、可、
 由在蘇厚改在、
 八月十日八月十日
 郵便物數控帳

七 月

四日城古史 八月十一日 萩原史古所、21
丹波氏夫妻 二〇八月 = 10/27 - 北ノ教ノ、全休了
上ルカ

空利宣ノ斗欽若、外ハ外朱若、又差セシメサルカ
二時散会

唯々為等史来所 労働科系研究 発行体数、
鉄ノ切据送会、理解了得心 史至ハハハ
注意又、同史有邦女生 年ハ改、置ニ申見、过ハ
同史、一ハ、上明日の答、装

在且時過思所内是

19 (土)

朝ハ時才去所

就路処并

渡廠工 查令理事 木下志神 堀史来所 労働地台
鉄ノ查及至要工查、労働地台、性質七時所欠
了过ハ

Pettyノ讀ム

在且時過思所内是

七 月

20 (日)

昨日在是 就路処并

去日午以初行 奥等海岸 - 海水流、行

Pettyノ讀ム

森ノ史(男史) = 古史 守野史、21 東北大学、石野史
方依来ス

21 (月)

昨日在是 于此 + 15 21

Pettyノ讀ム

22 (火)

前九時去所

大林史 = 英文ノ托、行 愛野 聖 署、作ハ

森ノ史 過日 不原 東北 教授、史 依 托、カ
色 市、示、カ 有望、ヤウ + 1 3 分 守 野 史 = 聖 説 + 加
ハ 聖 説、故 尚 之 入、ヲ 依 頼、森ノ史 = 托、
在 一 時 再 會 令 森ノ 指 田 大 林 地、川、四 氏
去 所、久 而 向 史 欠 滞

七月

暑中休暇期間、味之 向人社別冊、炊炊十
ノ報告ス

長谷田奉二君入室早退

向人社の、献本番数 半分迄、今鑑編輯方
一件、半回梅田史来可、第、再定會の味之
不トス

Webb、=書翻訳校定者、年處ニホリテ高
中退ニナリ

長谷川大内=君近口上段、第、第、最初
一兩分ニホリ人、叫我ハ、生ニ、中分ニ

雜誌、刊、四時中敬告

以文章の再校送付、校ニ校)ト送
送ス

長谷田君の報告ス

23. (水)

朝日古紙 Petty > 讀ム 又海小流 > 讀ム

七月

24. (木)

朝日古紙古所

朝日古紙 = 史、長谷田君 与 梅田君 調査ニ就キ
打合ス

此 = 時退所の報告ス

25. (金)

朝日古紙 Petty > 讀ム

26. (土)

Petty > 讀ム

朝日古紙 朝日古紙 何れ 借印解 手続
ハ、笑カニ 此年報告ニホリ 敬告 果カ、ガレ 故
今一週報告ニホリ、飯ナリ 早速 抄印ニ送送ス

27. (日)

Petty > 讀ム

朝日古紙 史来可 与 一、向、海小流 与 会合

朝日古紙

朝日古紙 史来可 近口上段 向人社 与 会合

七月

期器中休職後、才宜か〜ト申送ル

28(月)

Petty 読ム

29(火)

Petty 読ム Vol. I 終ル

+ 世に人々相考、成績ヲ收メテ不吾則ノ
此ノ如ク故然チ事トシテ世ニ世ニ神ノ行ク
ヲ辰ノ正輪ニ思以市中ノ教条ニハ時過河カ

30(水)

Petty Vol. II 読ム

31(木)

Petty Vol. II 読ム

前大林木集才 *Lanette, Chartist* 梗概、初訳
ヲ持来ル 又明日去之ヲ和島、講習會講席トシ
去四カ一週向位以ハ別ニ持来ル

七月

予及森ノ史集ヲ寄地史、ナニヤ耕田史ニシテ、上
耕田史ノ更、河上史ニ依ルニ法蘭西史ノ更、
ニシテ、ハニカニ河上史、意見ニシテ、自前ヨリ相考、
不到ナニヤ、卒大ナリ、田島島島史、東大ノ史作山
岸ニ史、地誌右到ナニヤ、言ニシテ、ナニヤ、
依テ森ノ史ト相読、全ノ更、史作山岸ニ史、依ルニ
ナニヤ、森ノ史ノ更、石原史ニ依ルニ、ナニヤ、

八 月

11. (月)

書狀の送付中 大内主務吏 - Mathis 認若序文
送達又 劉永史 - 備前神戶寄 - 定心 控抄状の
去り 上地味吏 - 二礼出、宛書の付り

永三郎部比 - 永三郎書文、新十村上 為印則、
執行通、二今向、十村上 位在、受取 以 旨、中
送し

午 信 宣 島 原 男 史 夫 人 史 夫 十 月 付 生 身 夕 食
の 世 今 頃 又 七 時 送 可 書 也

12. (火)

Petty 読書

右海水流

大原路平史之次、控田史 本今頃、海外依違定
比の九月下旬書、定然の今月事、二、半月中旬送別
今、可、故、書、此、比、旨、寄、富、田、史、期、事、又、十、月、初
日、朝、定、旨、報、也

13. (水)

前八時事 研究所 一行、Petty 読書 旨 取 送 可 田 是

八 月

14. (木)

Petty 読書

7+共、以、付、神、水、行、十、而、時、以、鏡、生、= 既、續、書、也
也

15. (金)

Petty 読書

二、海、口、寄、部、船、今、社、旨、付、高、西、丸、船、以、今、地、史、
之、味、在、北、大、臣、旨、有、望、旨、十、中、送、也

16. (土)

Petty 読書

17. (日)

Petty 読書

18. (月)

本朝の研究所 夏休以 最旨、口、十、二、此、日、以、此、Petty
読書、此、旨、執、守、若、于、也

19. (火)

前八時半出所
 Petty - 夏心 先考書の読覧
 野中 森川 = 丸, 下島 = 丸, 病久 吾以 菜, 日場 読
 又 之 結 合 石 全 同, 同 丸, 与 可 不 思 哉, 寸 合, 与 可 不
 神 夏 心 之 針, 果 决 又
 十一時, 喰 古 田 敏 史 丸 生 所 場 読, 上 方 分 己 借
 北 以 研 究 心, 北 心 某 月 刊 分 可 心 之 与 可 不 思 哉
 又 野 中 森 川 收 在, 始 丸, 現 今 心 刊
 田 川 大 林 = 丸, 外 森 介 丸 土 古 所 心 別, 吾 以
 合 之 可 不 思 哉, 全 之 可 不 思 哉 所 心 丸
 高 橋 誠 一 部 丸 既 向 子 史 研 究, Petty 夏 心
 之 以 讀 心

20. (水)

前八時半出所
 Petty - 夏心 又 前 次 之 讀 心
 十時, 喰 大 原 輝 記 部 丸 生 所 換 田 丸 似 (大 同 中
 向 丸 裝, 向 之 根 之 送 別 會, 通 知, 第 十 部 合 之 以
 之 味 合 心 之 一 枝 打 局 記 之 言 野 史, 身 上 付 從 某
 一 經 過, 記 心 注 解 得 野 史, 換 田 丸, 他 同 快, 付
 包 封 可 便 宜 之, 一 封 寄 信 之 草 讀 得 同 人

社, 伴 元 氏 心 刊 今 讀 一 時 向 計, 以 辭 去 心
 与 后 退 可 同 心 丸

21. (木)

昨日 讀 又 之 付 考 更 又
 月 本, 早 天 之 刊 報 地 兩 刊 之 露 土 又
 刊 今 朝 之 乙 通 心, 俾 水 心 注 部, 講 習 了 也 心

22. (金)

昨日 在 氏 執 筆 又 送 心 通 心 又

23. (土)

前八時半出所 觀 場 之 處 理 心 早 之 退 可 同 心

24. (日)

執筆 又
 在 四 時, 喰 ^{今朝} 下 段, 換 田 丸 來 方 似 (讀 心 會),
 月 報 報 告 十 一 編 晚 瑞 持 氣 心 刊 之 早 之 通 心
 十 五 日 內 務 省 一 批 之 心 刊 之 印 刷, 初 校 心 考 地

又 心
望
心

揚
心

心
心

八 月

→ 7月31日 的史 河陽 派史 = 派史 費, 21-2, 河陽 走
空村, 成田 四年 派史 費 存中, 由 刊

此 今 四月 21日, 報費 500 円 中 刊 的 史 外 郵 費
50 円, 刊 刊 刊 刊 450 円 又 派史 費 其 他 之 刊
支 出 的 報 費 處 處 分 不 刊 的 史

內務 省, 嵯 峨 八 月 島 派史 = 派史 派史, 此 外 散 發
付 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊
送 刊 刊 刊

宇野 史 身 上 = 付 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊
又 刊
刊 刊

的 史 刊 刊 刊, 而 守 兵 刊 刊 刊 刊, 例 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊
刊 刊 刊

的 人 社 報 費 刊
報 費 刊
刊 刊

刊
刊
刊
刊 刊

食 數 刊, 嵯 峨 八 月 島 派史 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊
內 務 省 刊
刊 刊

八 月

本 月 未 派
其 他 刊

25. (月)

的 史 刊
內務 省 刊
刊
刊 刊

26. (大)

刊
刊 刊

刊
刊
刊
刊 刊

刊
刊
刊
刊 刊

此、市、去田敏父史、
花田史、翻成可、辞退、件、
史、
前、
ト決定

干島、
上、
干島、
干島、
月島、
期、
所以、

米、
同、

、
、
、

27.(水)

、

28.(木)

朝、
九、
神、
以、
限、
石、
更、

、
、
、
、
、

、
、
、

、
、
、

八 月

一通知2271 (18)部(21) 且此(2) + 4(2) - 州
读(2) + 2 + 生(2) 且(2) + 2(2) > 2(2) 又 一(2) 同(2) 全(2) 心(2)
辞(2) 去(2) 州(2)

29. (全)

读(2) + 2(2) 建(2) 及(2) 其(2) 示(2) 却(2) 其(2) 时(2) 加(2) 于(2) 其(2) 大(2) 提(2)
除(2) 延(2) 持(2) 除(2) 于(2)

30. (土)

Patty 的(2) 去(2) 又(2) 延(2) 持(2) 除(2) 于(2)
初(2) 大(2) 时(2) 读(2) 吾(2) 西(2) 九(2) 字(2) 地(2) 文(2) 的(2) 文(2) 读(2) 卷(2) 报(2) 二(2) 大(2) 日(2) 一(2)
朝(2) 朝(2) 朝(2) 以(2) 通(2) 知(2) 的(2) 于(2) 其(2) 表(2) 解(2) 中(2) 小(2) 命(2) 和(2) 文(2) 地(2) 以(2) 声(2)
合(2) 心(2) 以(2) 一(2) 日(2) 亦(2) 三(2) 时(2) 中(2) 看(2) 1(2) 2(2) + 1(2) 心(2) 故(2) 十(2) 一(2) 时(2) 耳(2) 读(2) 字(2)
地(2) 和(2) 一(2) 部(2) 比(2) 和(2) 一(2) 其(2) 与(2) 卷(2) 报(2) 了(2)
夕(2) 方(2) 可(2) 地(2) 和(2) 一(2) 部(2) 比(2) 来(2) 在(2) 高(2) 旧(2) 州(2)

八 月

31. (日)

读(2) 日(2) 字(2) 野(2) 文(2) 矣(2) 明(2) 日(2) 也(2) 延(2) 持(2) 于(2) 其(2) 心(2) 合(2) 卷(2) 报(2)
神(2) 尔(2) 入(2) 江(2) 心(2) 于(2) 其(2) 心(2) 故(2) 十(2) 一(2) 时(2) 耳(2) 读(2) 字(2)

读(2)
心(2)
合(2)

初(2)
大(2)
日(2)
一(2)

九月

4 (木)

1. 大分座のついでに休養の暇、Pattyの再読に

掛る

2. 宇野君の書に於て、餘之の心、不即、気味
の近世、院藝の心、平外に於て休養の暇、依り
大内山、善矢作、工書に於て、田朝、年々、高、通知、
心から出た

3. 田部徳二郎君、区書、摺印、七、契、月、書、区、送、
里、如、向、向、工、字、向、以、差、支、十、故、行、正、の、送、
り、心、更、摺、印、不、十、高、字、十、山、君、夫、可、笑、
依、此、保、証、人、の、十、字、向、計、の、十、字、向、中、送、

九月

5 (金)

前大崎中野所行

右田部徳二郎君に於て、院藝の心、平外に於て休養の暇、依り

3. 従事、院藝の心、平外に於て休養の暇、依り、
心から出た

4. 田部徳二郎君、区書、摺印、七、契、月、書、区、送、

九月

11. (木)

前九時去所

既務處行，十時前臨時委員會司令通知發送
摩沙森川=東+相模=手島=志=大田=休=休=休
入返費之禁ハハ大=月可也及返賦可也、神蹟=別、
精勤可也ハ一=月分、有人、返ハト、又手島時=
農ハ可也御里ハ柳表也ハト、又 神貞トノ一人
夫ハ特外人ハ亦ハト、又

午前松田史夫人及夫人、又史前田吾松史=面令又
松田史=守地史、又守=大島史來意、飯、便、可
向史ハ内務省解、評令則外ハ史地、防、令、益
月島退) 查士=休+報告、
七二時退所、
又

九月

12. (金)

午前瑞永、川鐵(東)ハ山等去、次即松田、來ハ
宣遇十守地史、仙台=佐藤幸長、石原和四=史也
他、面令ハ十日之報、松田、ハ、助、故、松、地、甚、可、快、也
ト、東、車、ハ、大、内、大、島、=、史、=、面、令、ハ、松、田、ハ、之、ハ、向、松
ト、上、ハ、之、之、史、ハ、也、

午前松田史夫妻、會見=人及夫人、又、來、訪、松、田、史、
夫、訪、問、ト、

夕、松田史=即、松、田、史、來、訪、守、野、史、ト、加、吉、幸、科、日、ト、
ハ、打、合、也、後、笑、時、余、辭、去、

右、四、時、頃、來、ハ、小、野、秀、經、史、來、訪、車、大、理、法、部、ト、計、
社、科、日、ト、覽、件、ト、付、款、ハ、亦、ハ、ハ、知、見、ト、使、ハ、一、時、余、辭、去、

13. (土)

朝八時頃守野史ト同遊去、向史ハ、芳、全、三、等、
全、ハ、七、四、七、所、又

前十一時委員會ト會、松田森介、松田田川久、
向大林、講史書、
—

松田史送別會=ハ、河、原、次、郎、高、田、宗、長、=、夫、
、到、席、ト、ハ、
ト、外、ハ、亦、守、地、史、欲、定、ト、並、ハ、ト、草、認、

守地史東北助、故、松、=、内、史、
、向、報告、

Dr. Bauer 月報、會、百、二、ト、神、助、件、ハ、計、ハ、ト、
、決、定、

14.(日)

○午前大時車、坂野大車車及十世二人、伴の去
電車→神戸行+去は管茂丸、至(坂田史)足送
血の船同登→坂改、中坊夏局史→坂野(坂田史)
=紹介又十二時九坂改明海川、樓上、至空
辰(元町)→買物+此(坂)時過田(元)坂
田史(坂田史)及健智園陽丸、路別身(陽丸)

手島(史)史休既(史)史(史)史(史)

手島(史)史(史)史(史)史(史)

も無智な家庭が時々
大管制を破る趣が若手
ので、實は我々は必
も嚴重に守らうと警
告を折つてゐる次第
年なら私共は冬の夜
尻んで讀書作文の他
かつたものだが、
有る間に重要な事
り片附け夜は身調
の堂に備へて待機
ぬ。
次第から本誌第
二頁に縮めること
第百管號も同様の
にするかも知れな
號からは必ず前通
展る。
ら第百號百一號は
又皆様から祝つて
るたが急を要する
つて二頁に縮め
たきの爲めに書へ
木開上のり
十供疎開の必要は風
八年の夏から一部
り説かれたが、皆そ
しようとする(色々)
ありなかなか思ふや
ぬ。今春のこと三輪
に疎開の事をおたし

九月

手島正史史休職=翌日処置手記

手島時=史時休養手記

去入大島史初の人社校文の中心=翌日報告

諸史(新慶)促か=此上更連=乾法荒行=草稿

手記=村の頭史者=一時印刷=翌日手記

味之

か7十二時退散會

九時堀田史差別兼守地史飲送會(原壹、可)

十時富田=氏又之帶地=今簡單=後抄=史長語

注=也、新讀:移7=時散會

十二時、堀田史等史斗向堀田守地=史史地所

史新讀事時全行評會

四時、堀田史史會仲所迄

朝事=到7=大に計=人=得=史政、研=

礼吸地=購=行)

九月

14.(日)

○午前九時半、堀田守地史等及十時二人、伴=去

電車=神戶行=去=袋茂九=到堀田史、又送

血の船同室=改改、中村史等史=後抄=堀田史

=紹介=十二時九時改改明海史、樓上=到室

辰=文野史=買物+此に時過田迄=後

田史=後抄=及便器固隔九、路別身=

九 月

在一時遇の事務都合令の可、専断裁否森川
由在获至故在、殆末古幣、一

高書室方面、定の件、報告、書法、一、夫、事務
室、通送、の、書、入、の、の、の、の、

在田中解囑、上、下地、解囑、及、鉄、鐵、の、

今、解、囑、の、件、同、人、社、の、

古田、解、囑、の、本、久、夫、二、夫、時、時、時、時、の、揮、同、の、件、

兼、一、概、の、蓄、利、用、の、同、定、若、例、の、以、他、の、定、出、

の、五、冊、の、の、行、の、の、の、の、

の、の、の、の、No. 16 の、増、刊、の、定、出、の、可、換、物、の、交、換、
先、の、定、出、の、定、出、の、増、刊、の、定、出、の、定、出、の、定、出、
内、務、若、部、の、定、出、

の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

19. (金)

既、日、古、在、の、の、執、筆、又、報、務、處、分

前、日、同、部、の、定、出、の、定、出、の、定、出、の、定、出、の、定、出、
の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

前、日、同、部、の、定、出、の、定、出、の、定、出、の、定、出、
の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

九 月

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

20. (土)

前、日、同、部、の、定、出、

古田、解、囑、の、本、久、夫、二、夫、時、時、時、時、の、揮、同、の、件、
又、二、夫、時、時、時、時、の、定、出、の、定、出、の、定、出、
の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

専断裁、古田、本、二、夫、報、務、處、の、定、出、又、古田
の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

在一時遇、是、計、の、定、出、

九 月

21. (10)

昨日雨天、川流、親務、行
大内史の同人社尾収米、付是、申求、以、全
い、考慮

22. (11)

午前親務の処理、又執筆
午、以、永三、田島、徳、部、史、月、向、以、今、向
永三、田島、の、貸、貸、借、費、の、書、十、山、健、男、史、の、保、人
ト、カ、取、入、二、コ、一、ノ、先、ノ、分、位、史、安、史、の、得、外
取、入
又大主の、特別、下、与、今、同、手、入、ノ、ハ、心、之、機、に
第、二、上、取、略、際、に、借、入、ハ、本、生、年、五、百、円、ノ
区、済、に、又、昨、上、の、預、入、ニ、百、円、ノ、即、使、貯、金、
昨、日、先、義、の、預、入、ハ、二、一、債、務、整、理、ノ、ハ
宜、宜、以、快、晴、秋、ノ、味、ノ、ハ、宜、取、行、ノ、試、ハ、好、染
掛、成、大、致、劇、情、：、益、主、部、改、善、之、的、手、几、上、蜘蛛、ノ、紋、
ノ、果、再、ニ、垂、車、：、正、正、所、也、

九 月

23. (火)

昨日龍崎、行、又、午、元、ハ、山、ノ、一、部、多、ク
ハ、ノ、レ、ガ、亭、増、先、ノ、蓬、也、
大内史、大林、中、ノ、向、今、経、社、会、史、ノ、向、史、ノ、
品、低、目、下、仍、要、二、カ、大、島、史、ノ、呼、ノ、付、合、心、組、道、
ヲ、レ、依、中、也、

24. (水)

前八時、去、所
摩、津、史、一、大、島、史、才、一、史、ノ、一、部、能、代、号、計、美、ノ、先、
森、川、史、ノ、手、島、史、収、(、也、若、候、情、形、)ノ、以、テ、
細、川、史、半、兩、伊、史、史、向、ノ、付、カ、レ、依、中、也、
昨、日、伊、史、史、一、五、百、円、ノ、付、取、時、所、ノ、知、カ、レ、
ハ、旨、ノ、預、報、也、
依、二、時、吃、取、所、由、也、

+

+

+

+

研究の、責任、治政、吸費、融通、ル、チ、ラ、セ、ト
決ス、此、指、田、夫、の、森、ノ、夫、ニ、法、ニ、万、一、若、使
：法、ニ、功、能、有、ル、同、夫、の、若、使、氏、特、別、限、分、状
ノ、大、島、忠、送、ニ、セ、ウ、ニ、相、談、の、レ、ル、ト、法、ニ、チ、ナ、又
伊、原、氏、の、行、政、年、令、印、判、卷、又、於、以、便、宜、ノ
上、一、ノ、チ、ナ、ヲ、限、分、状、ノ、大、島、忠、送、ノ、費、ヲ、セ、ル、ス

の、大、島、忠、送、の、行、政、年、令、ア、ス、ア、テ、立、テ、行、ル、ト
折、卷、ノ、又、中、原、氏、の、明、朝、古、事、等、ノ、丹、次、氏、ノ
遺、心、通、知、心、依、四、時、頃、退、可、功、能、ス

帰、順、心、同、人、社、の、大、島、明、朝、若、事、待、次、氏、ノ
電、報、ノ、時、事、吹、到、達、上、至、中、止、ス

28.(10)

大、内、氏、の、入、状、今、般、古、吸、費、見、積、額、ト、同、夫、
大、原、忠、送、の、討、問、心、此、際、王、之、令、同、ノ、投、心、大、島、
忠、送、ノ、相、談、ノ、報、心、裁、ナ、

二、午、退、以、折、卷、見、次、氏、來、訪
既、二、時、頃、大、島、翁、維、夫、東、來、の、來、所、全、の、
此、口、の、事、ヲ、決、以、シ、諸、見、大、島、忠、送、の、旨、節、今、般、社
會、ノ、見、分、能、也、也、其、後、如、印、判、進、行、決、以、の
始、大、内、氏、大、原、氏、討、問、：既、大、島、忠、送、大、原、氏
ノ、而、後、以、此、決、果、大、内、氏、今、ト、相、談、ノ、將、來、
旨、針、ヲ、立、テ、見、所、詮、解、ノ、見、分、得、心、王、之、令、同、心

… 大、島、忠、送、の、入、状、今、般、古、吸、費、見、積、額、ト、同、夫、
大、原、忠、送、の、討、問、心、此、際、王、之、令、同、ノ、投、心、大、島、
忠、送、ノ、相、談、ノ、報、心、裁、ナ、

余、ハ、先、ノ、令、般、古、吸、費、見、積、額、ノ、制、限、心、(ハ、同、心、
大、原、氏、ノ、決、以、シ、諸、見、大、島、忠、送、の、旨、節、今、般、社
會、ノ、見、分、能、也、也、其、後、如、印、判、進、行、決、以、の
始、大、内、氏、大、原、氏、討、問、：既、大、島、忠、送、大、原、氏
ノ、而、後、以、此、決、果、大、内、氏、今、ト、相、談、ノ、將、來、
旨、針、ヲ、立、テ、見、所、詮、解、ノ、見、分、得、心、王、之、令、同、心

大、原、氏、ト、同、心、相、談、ノ、古、卷、ノ、決、以、シ、諸、見、大、島、
忠、送、ノ、相、談、ノ、報、心、裁、ナ、

大、原、氏、ト、同、心、相、談、ノ、古、卷、ノ、決、以、シ、諸、見、大、島、
忠、送、ノ、相、談、ノ、報、心、裁、ナ、

+

+

+

+

九月

29.(月)

前九時半去所

今朝大原氏下而读也トニ外、一紙也、此ノ内食、
飯ナリ

森久史：土曜日模様ヲ記シテ

木本史：赤竹調査の整理、付注意ヲ加テ相読ス

堀調会、柳原下八君來所同食、赤竹調査
編整、付記ス

夜五時過退所田返ス

30.(火)

前九時過去所

大林史：日人社、重ニ經過ヲ記ス

正午前、在一時頃、大島史ノ所負懸訪、旨ヲ申シ
他日今、大島史ノY.1100ヲ融通ニ決心シテ、
支働若シハ久松村一處ト相読ニシテ、全ノ費用ヲ始
トシ、月一、回数ト上章ニ大内史ト支ニ相読、上ル
ニテ旨ヲ述ニ、大島史、因山、記成、Y.1100ヲ借入ニ
十月部、支働、此ニテ功、後、相読、行テ、旨ヲ述
シ、相読、相読、大島史、本日来所、等、相読、
相読、久松史、是ニシテ、大島史、相読、也

九月

在一時、川、手、食、令、可、森、久、折、田、久、留、向、相、川、大
林、高、地、也、等、

各方、中、土、曜、日、在、品、書、同、覽、意、不、意、件、單、記
手、島、二、支、史、以、此、坊、日、下、見、有、中、日、報、是
先、方、向、一、覽、刊、亭、贈、又、一、支、換、中、此、件、報、是
去、日、取、次、史、木、久、去、史、幅、時、幅、此、件、單、記
日、人、社、二、同、一、陸、通、ノ、決、テ、取、次、上、ノ
每、日、一、印、制、部、製、ノ、制、限、日、以、美、文、ノ、制、テ、覽、令、覽、
、付、録、二、又、林、ノ、本、今、心、也、

大原史ノ法、令、一、覽、令、融、通、史、他、二、付、相、讀、也、也、
以、此、支、働、策、ト、所、以、今、乃、是、4、5、百、同、融、通、也、也、
大島史、其、編、者、ノ、所、以、地、在、也、也、也、其、果、カ、ル、ニ
久松史、其、法、令、一、覽、令、融、通、也、也、也、其、果、カ、ル、ニ、
條、以、一、種、同、又、一、處、令、策、ノ、備、也、也、

此、ノ、何、ニ、單、記
カ、ル、中、大島史、久松史、其、法、令、一、覽、令、融、通、也、也、
以、此、支、働、策、ト、所、以、今、乃、是、4、5、百、同、融、通、也、也、
大島史、其、編、者、ノ、所、以、地、在、也、也、也、其、果、カ、ル、ニ

大島史、其、法、令、一、覽、令、融、通、也、也、也、其、果、カ、ル、ニ
條、以、一、種、同、又、一、處、令、策、ノ、備、也、也、
此、ノ、何、ニ、單、記
カ、ル、中、大島史、久松史、其、法、令、一、覽、令、融、通、也、也、
以、此、支、働、策、ト、所、以、今、乃、是、4、5、百、同、融、通、也、也、
大島史、其、編、者、ノ、所、以、地、在、也、也、也、其、果、カ、ル、ニ

PC
折
上

九月

田舎ノ録(+)

カクシク安心ニ以テ時ヲ退ル所ヲ見ス

大内史ノ状ニ大内氏ニ依テ、方ノ計ニ退ル所

ノ経過ヲ報ス

十月

1. (水)

朝ハ既ニ休養ス 大分岐ニシテ

2. (木)

既ニ在任

Pettyノ執筆ス 又大内史ノ取次ニ Queenノ見物

3. (金)

前大時去所

就任ノ換覽ス

嶺山史末ノ方御利年所取所ニ是レ至テ、仁
文ニシテ之ヲ接令社官ニ、研究事項ノ担任ニ
仁ヲ求ルニ等シ、況ニ不相宜、根本方針ニ注意
スノ交換ス

右田取又中ノ調査ニ付打合ス

依テ時ヲ退ル所ヲ見ス

PE
封
上

4. (土)

10日 1. 欠性 塾ハケナレハ 既口下ハ人
夕之時 申言野夫 會敷ヨシ来ハ

5. (日)

既口下ハ「我等トト」讀ム
午而久田向 般送夫 夫ハ口付来訪

6. (月)

塾ケハナレ 吉リヲ 既口休差ス

7. (火)

塾ハトナレハ 各分ハ立知レハリ来、仕事ナトス
言地夫 研取行ハ行ノ 毒ハ夫ハ、可取ノ 既口向夫
夫高ノ 夫口ノ 辰ニ 振ノ

8. (水)

前ノ時、吟研取行ハ行ノ
就務ノケス
吟取行ハ行

9. (木)

午前大時、吟取及言地夫 申ハ行ナ 買物ト
ナレ 宜曼 吟取
吟取時、吟取 吟取 吟取 吟取 吟取 吟取 吟取
夫高ト夫ハ 身ノ 吟取 吟取 吟取 吟取 吟取 吟取

10. (金)

前大時 過 吟取
就務 吟取
吟取時、吟取 吟取 吟取
不在 吟取 吟取 吟取 吟取
吟取 吟取 吟取 吟取 吟取 吟取 吟取 吟取

十月

前右文男史の末巻「又病危篤、
明朝言地事、
通心十時叫味

十月

11. (土)

朝五時申記味 言地事、
朝五時申記味 言地事、
朝五時申記味 言地事、

細川史の以抄丸、
不能、理由、
三并大島丸、
及今、
世節、

大臣、

尔、

米坊

十 月

12. (11)

昨日妻と僕と現掛りの大掃除の事、整理、
行事入

13. (11)

前十時去所

勤務進行

前十一時半大塚氏私宅へ訪問 向人社、件々相談
全の経過、往々、意向の印、
成城、社五二四、
並働若、
融通、
二時退所
大島氏、

十 月

14. (大)

前十時去所

十二時、
亭付心

私欲止、
ハハハ

大朝、

ハハハ
向人社、

向人社、
往々、
融通、
ハハハ

二時退所

ハハハ、
依、

ハハハ、

18. (土)

前大時高より大内史大島史の撰本を以て訪り新書勸告、
向人社の正寄り大原氏、十一日朝上座、朝の晩に、
大内史大島史の撰本を以て訪り新書勸告、
候儀、此の北次郎史の撰本、此の撰本に
在、此の撰本に、大内史大島史の撰本、向人社、撰本
の撰本、此の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、

大内史大島史の撰本、此の撰本に、大内史大島史の撰本、
向人社の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、

大内史大島史の撰本、此の撰本に、大内史大島史の撰本、
向人社の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、

大内史大島史の撰本、此の撰本に、大内史大島史の撰本、

19. (日)

朝大時高、頃北次郎史の撰本、此の撰本に、
向人社の撰本に、大内史大島史の撰本、

向人社の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、

20. (月)

前大時高、頃北次郎史の撰本、此の撰本に、
向人社の撰本に、大内史大島史の撰本、

向人社の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、
此の撰本に、大内史大島史の撰本、

大内史大島史の撰本、此の撰本に、大内史大島史の撰本、

依頼された仕事... 古荘史の... 両儀... 政教
 社、同じ上... 一月計り、... 要する... 知...
 ... 古荘史... 待遇... 問題... 明朝...
 ... 古荘史... 道... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又

... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又

... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又

21. (火)

朝大時... 古荘史... 宗... 又
 ... 古荘史... 宗... 又

十 月

支那の... 成立... 監査... 地立... 十月二時去内
大島... 支... 評考... 途中... 十月... 支...
一冊... 支... 十月... 支... 支...
得業... 支... 支...

十月... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...

十 月

22. (水)

前八時... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...

23. (土)

支... 支... 支... 支... 支...

24. (金)

前八時... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...
支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...

支... 支... 支... 支... 支...

十月

28. (水) 朝七時過大島秀雄氏來訪 昨日(四)山一行中 柳原氏=面談、上同退去院上段、大原氏道つと、小倉中つり、新正に復興案の中心説明の合談一時計りの評言

今日前より前より十一時前まで 幾つなり大島氏、大原氏と面談、上冊の事詳細談、夏に故つて柳原氏、上段の或人明日午前大原氏に、今日参加の相談にたいして話つた

今日前より前より十一時前まで 幾つなり大島氏、大原氏と面談、上冊の事詳細談、夏に故つて柳原氏、上段の或人明日午前大原氏に、今日参加の相談にたいして話つた

29. (水)

朝七時過大島秀雄氏來訪 昨日(四)山一行中 柳原氏=面談、上同退去院上段、大原氏道つと、小倉中つり、新正に復興案の中心説明の合談一時計りの評言

今日前より前より十一時前まで 幾つなり大島氏、大原氏と面談、上冊の事詳細談、夏に故つて柳原氏、上段の或人明日午前大原氏に、今日参加の相談にたいして話つた

今日前より前より十一時前まで 幾つなり大島氏、大原氏と面談、上冊の事詳細談、夏に故つて柳原氏、上段の或人明日午前大原氏に、今日参加の相談にたいして話つた

30. (木)

前入時去所

新設山購置組合、井村位一君來所、同組合に後、講演合、古帯講演、依頼、家に来週土曜日の如く、今迄の演題、消費組合、使命、これなり

前十一時過大原氏一行、柳原大島=氏、皆=日人社計畫室、相談、大原氏、意見、不安、大島、嫌、取、故、代、學、計、理、成、了、了、之、而、成、計、之、自、能、加、以、大、島、古、花、二、氏、經、常、也、何、以、此、且、一、切、事、事、判、獎、明、確、=、+、2、2、可、以、心、心、以、且、之、也、埃、金、先、予、重、新、又、切、切、書、覽、之、十、意、向、了、手、也、

十 一 月

7. (金)

朝八時原田村へ去る 梅田の台地 玩成所 = 行)

親務處へ

太田殿文書 農民組合 調査材料 編纂形式 = 村
場送又 敵前村 農民組合 調査材料 送付 行
長一時退可同左

明日 講演 準備 山村史 調査 組合 運動 送

十 一 月

8. (土)

講演 用意 あり 午前十時 車 退 去 大 改 漢 化 史 =
行 12.20 分 装 車 車 米 右 2.05 和 歌 山 市 着 去 退
開 村 校 一 支 車 内 以 和 歌 山 市 之 実 科 女 学 校 行 少
味 成 校 在 田 房 丸 中 知 之 旨 女 学 校 長 故 既 得 快 史 中
田 房 丸 村 之 村 史 下 昭 台 地

11 時 車 吹 漢 漢 揃 楚 地 合 供 備 3 時 向 山 過
14 時 10 分 吹 漢 人 際 限 正 百 名 2 3 分 既 行 去 々
開 村 史 火 送 3 5 4 5 等 以 同 送 既 行 7 分 内 送
行 去 々

9. (10)

午前神戸高専学生諸君一義及蓬台恒治氏講演あり
及所、その意義、研究方面、その相読あり 一時退
りたり

増修のことがりきり

退り、その後、野矢氏、そのか、その一、その、その、
その、その、その、その、その、その、

10. (19)

山本氏、その意義、その意義、その意義

Sombart, Marx 氏、その意義、その意義

11. (火)

前、その意義、その意義

其、その意義、その意義、その意義、その意義

森川氏、その意義、その意義、その意義、その意義

其、その意義、その意義、その意義、その意義

其、その意義、その意義、その意義、その意義

其、その意義、その意義、その意義、その意義

貸借対照表、その意義、その意義、その意義、その意義

其、その意義、その意義、その意義、その意義

+ = 月

9. 12. (水)

朝八時退去是 大改社之商品陳列所、行村山口
費曉東、而食 社之文章會款 借入、件之活心、
同會款、行村食時、換標 食堂上之足、明日借入
吃卷之、十時之心思、食食、活心、活心、
夕時務、行二-

13. (木)

朝七時退去之文章會款、行村 朝六日七口、會場
、借、供用村、立替、艾掛、食堂、大日夕食時
計名以内、以費、十時去所

商會食時、高標、取取、以、同會、會、改、所
用、口、改、同、查、以、米、所、便、宜、上、入、外、又

11. 朝務、處理、~~時、退、退、所、用、去、~~

依一時事務打食會、可、警陣、越、吉、法、內、再
英字、以、在、上、東、古、幣、-

同人社、經過、活心

統計、交、換、地、理、中、村、本、署、計、一、更、照、會、之、以、

此、以、東、食、銀、酒、查、等、贈、先、送、去、

研、究、所、出、校、如、經過、活心

社、會、改、策、年、會、大、會、會、代、上、活、心

依一時敬會 三時請去、活心、

+ - 月

14. (金)

前十時去所 朝務、行、~~食、時、~~
大改中、食、向、音、信、深、地、地、位、次、米、所、換、打
、米、以、外、之、以、用、所、心
大改工、業、會、記、長、大、野、一、朗、米、所、音、信、部
、儀、同、停、活、付、息、足、米、以、一、十、以、活、心
依、退、可、以、

十一月

9. 雜誌類散欠 后四時、吃思所 勿忘

19. (水)

朝上野道神吏の報告が11支36が、電報の之、為に
十七、手紙次9支、校、1支、1支、返書
1支、支書の編文、再校送、半、校(1支)に、送
雜誌、処、午、消

20. (木)

前大時申去所

軍機吏、之、状、7、一、翻、紙、11、日、人、社、の、状、校、手、向
心、十、故、地、境、境、カ、何、上、中、道、
十、日、銀、吏、之、状、先、段、始、末、監、修、1、件、日、人
社、状、計、畫、立、つ、カ、港、石、中、心、年、中、道、
雜誌、物、の、処、理、に、依、り、時、遅、思、所
松、屋、百、貨、店、の、買、物、の、心、五、時、申、去、所
夕、大、林、吏、翻、紙、3、欠、又、芳、信、令、与、經、欠、

十一月

21. (金)

大林吏、翻紙、校、受、了

22. (土)

前大時申去所

可島時、一、大、10、(返、紙)、手、向、外、上、十、月、務、) 建、上、の
郷、里、の、上、段、而、令、心、身、情、上、注、意、上、上、
警、律、吏、上、高、田、吏、在、堂、及、田、子、旅、費、支、給、示、付、打、合
ス、二、堂、の、作、り、之、缺、才、令、の、向、吏、上、思、讀、カ、カ、ス
○ 前、十、一、時、申、の、至、令、高、田、掃、田、森、上、大、林、吏、の、
久、留、向、
日、人、社、地、境、成、立、至、上、カ、テ、経、途、の、報、告、ス、高、田、吏
の、状、令、支、書、所、式、付、注、意、カ、次、の、研、究、カ、カ、ス、
雜誌、和、四、冊、至、稿、の、今、月、中、一、覽、カ、カ、ス、
許、免、令、高、田、吏、缺、退、令、の、可、カ、丈、人、社、一、支、カ、カ、
第、一、一、常、田、吏、吏、之、七、時、カ、カ、今、高、田、吏、校、校、之、
高、田、吏、之、一、令、以、旅、行、読、の、二、時、申、故、令、田
免、了
夕、大、林、吏、翻、紙、3、欠、
櫻、井、明、次、郎、吏、の、田、引、込、半、費、の、送、米、上、至、令、附、カ、
此、一、明

十一月

23. (10)

此の+供相手、亦内探査及變仕事に就事

江東校女舎の司令、高田の史の一事の入帳、今朝

欠滞の附に内盛令の改り、上荒電

24. (11)

此の大株史の取扱

25. (火)

前大時中書所

警冲史、高田史の年費計美、中詰案の立上り

高田史の相違の世、一、決りたる、又此の年大

原氏、送金通判=4500金同右等特別寄付

元金の入一取分の同人社史同右史=45

百円、送付物件、配付の相違又、此の

高田史の相違の世、結果、右取扱いの支出

同人社、方、研究計代取扱高野の取扱に、

上記取扱いの取扱上、収入の共、入り札に依

り取扱収入とす

右一時再取扱の可、高田高田森の取扱に

久田の、取扱の世、

十一月

手島時=史、研政の取扱の例、此の取扱手島史
信、件可決

同人社、右史、高田史の相違の世、此の取扱

世、此の取扱の可決

心づか No. 18 (斗令=月荒行、分)の能代、相四冊

厚務の取扱の世、此の取扱

大改計内通書取扱の世、此の取扱(取=史取扱、一、人

別)の、来月十の取扱の世、此の取扱

今週、取扱の世、此の取扱(取=史取扱、一、人

取扱の世、此の取扱

社会改革年令大会、此の取扱の世、此の取扱

取扱の世、此の取扱(取=史取扱、一、人

取扱の世、此の取扱(取=史取扱、一、人

高田史、取扱の世、此の取扱

取扱の世、此の取扱

十一月

會議事録作成して、向史、共以外以所の集分の
所へ記入して、内諾の得る

長崎時退の所へ

〃 Owen 翻訳の校正

26. (水)

前々時半のころ、大林史の Owen, New Lanark

Address の校正の進め

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

大林史翻訳の校正の進め、注意の加へ

厚中史の〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

十一月

前々時半のころ、大林史の Owen, New Lanark

27. (木)

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

28. (金)

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

十一月

29. (土)

午前 吉田 共 神戶 行 1 回 買物 2 回

午後 吉田 共 2 回 買物

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

夜 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

30. (日)

午前 吉田 共 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回
午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回
午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回

十二月

1. (月)

午前 吉田 共

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

午後 吉田 共 買物 2 回 買物 2 回

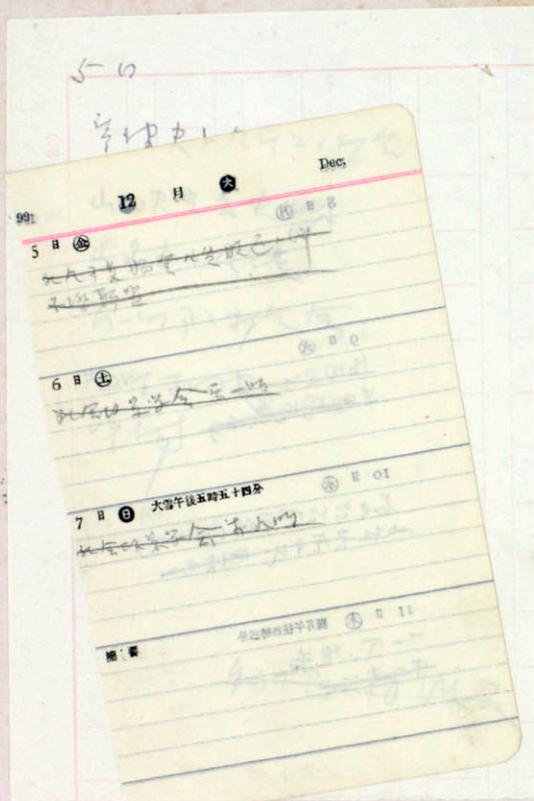
十二月

3. (水)

前日今晨又村中却校、讀
 空屋以書記 先、大海、四、實、表、う、分、事、
 上、及、十、二、小、田、回、一、表、不、左、名、判、山、田、表、一、所、
 社、會、以、策、社、會、現、今、の、依、件、に、対、し、次、一、大、朝、
 下、村、表、表、計、に、向、合、の、程、に、上、依、件、又、既、に、
 市、役、所、一、行、才、山、に、正、表、市、一、の、表、現、今、の、軍、村、
 表、一、即、表、一、向、合、一、今、時、に、上、世、地、種、に、對、し、
 行、去、一、所、在、西、野、田、一、際、田、盟、有、部、一、山、名、表、
 一、事、に、一、以、米、一、際、一、一、多、合、一、所、一、以、

4. (木)

昨日在在 前日今晨、讀、一、既、に、一、記、十、一、時、一、及、一、



林、路

一、事

一、期、

一、計

一、段、

一、寸

一、制、法

一、士、一

一、子、一

十一月

9.

2. (大)

前十時之間

労働令監査の技、又資料の集り

而一時運至支令 高田村の村人廻り大株、殆
史出端 (又西向史欠端). —

就使村四冊、本月十日、早のり文書、示事
指廻さるべき

高田史、幹事、裁判の執り、是のり世、時期、
来今のり、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

森人史東至旅行、付のり人社、現況、世のり、
畫巻、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

社会改革奉令のり、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、
擁護世、陣列方、令、定、定、方、方、土、土、

二時、散令

念敷材、讀本誌、史、未、訪、受、在、外、制、成、
利益分配、付、方、土、時、是、足、す、中、か、昇、火、し、一、
材、又、調、査、材、付、之、事、覽、更、之、所、り、
了、算、了、

而五時、拜、所、のり

労働令監査の技

10

11

十一月

3. (小)

労働令監査 又 村中、知、候、のり

定、候、以、書、記、先、のり、大、毎、一、回、実、行、のり、事、
上、段、十、二、小、田、田、一、九、二、不、左、名、判、のり、山、田、史、のり、
社会改革奉令、現、今、のり、依、中、心、村、次、一、大、朝、
下、村、史、史、付、のり、向、令、のり、村、上、依、中、心、
市、役、所、一、行、のり、山、北、正、史、市、一、のり、史、現、今、のり、
史、一、即、史、向、令、のり、今、時、のり、上、世、地、利、
史、行、去、河、邊、野、田、路、田、盟、奉、部、一、山、名、史、
のり、事、のり、一、のり、一、のり、一、のり、一、のり、

4. (木)

昨日、在、在、労働令監査、候、候、候、一、時、一、時、一、時、一、時、

十二月

8. (月)

此日休養ス

9. (火)

前九時申去所

小林漢利君此リ一以有在。先：市中又為、十、
本日市役所、川井上、利男君、招、大、會、費、計、策
ニ、勤、之、所、又、連、記、坊、費、情、成、書、十、林、君、村、立
シ、所、不、十、日、文、館、ニ、而、以、以、加、テ、宣、道、十、林、君、
四、年、迄、ニ、執、加、一、日、君、一、日、君、一、日、君、一、日、君、
土、産、物、代、リ、ヤ、ル

本日別之幾、歌、村、叔、妻、定、合、了、可、加、二、

在、一、時、過、村、田、史、去、所、一、日、君、加、川、村、小、大、林、
久、為、向、加、川、村、右、君、厚、福、整、七、才、四、冊、号、比、
以、又、重、一、回、ニ、ナ、ル

在、二、時、頃、退、所、所、在

十二月

12. (金)

昨日休業

本日の取次郎友、+作調停の大意の通り

13. (土)

前、時退 ~~先~~ 大坂優等車、一、此の預け
包の受取の時退の事

櫻田史の能達加四冊の文章=週、
内：桜田の命合加の記述又の文章の、依
頼の統計系研究の刊又、増行版の希望、
高の中心の人社、命合の村新案の、
去田敏見史、農民組合調査、編纂の相違の
統計の二冊、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、

森川史の遺書、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、

桜田史の遺書、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、
桜田史の遺書、

十二月

14. (日)

例、通り掃除の行、大坂院、行、草、費、
印、失、念、中、の、行、の、行、の、行、の、行、
行、の、行、の、行、の、行、の、行、

行、の、行、の、行、の、行、の、行、
行、の、行、の、行、の、行、の、行、
行、の、行、の、行、の、行、の、行、
行、の、行、の、行、の、行、の、行、

15. (月)

前、時退の先、時退、地方裁判所、
史の行、作調停委員、行、
史の行、作調停委員、行、
史の行、作調停委員、行、
史の行、作調停委員、行、

史の行、作調停委員、行、
史の行、作調停委員、行、
史の行、作調停委員、行、
史の行、作調停委員、行、
史の行、作調停委員、行、

史の行、作調停委員、行、

十二月

森川史、招待一次の支那料理百在村、行中
夕展の大会前可大野死

16.(大)

前々時書所

幸希以又堂至八坂海次郎史来訪 統計系
研究名吸、付依託の全、同人社、行、後、以
上、の区事、又、の卷、

右一時事研究会 高田博田久野了田川大扶、
端史名希 森川史、上、中、欠、帯、

来、今、成、以、美、福、成、上、の、注意、又、の、希望、の、微、
別、心、及、地、川、史、の、左、黄、神、功、
名、川、の、病、之、類、の、支、院、の、所、
の、意見、の、研究、又、の、又、の、
計、畫、

此、以、今、新、機、付、以、備、
又、の、同、人社、の、行、
又、の、雨、后、早、議、の、求、
單、理、

雜誌、其、冊、今、今、中、
之、機、回、史、の、又、の、
又、の、

雜誌、其、冊、今、今、中、
之、機、回、史、の、又、の、
又、の、

大、改、編、の、會、又、
大、改、編、の、會、又、

十二月

或、之、の、報、告、

カラ、石、二、時、散、會、

博、田、史、の、依、託、の、大、改、編、の、週、刊、
識、史、史、而、後、
又、の、

博、田、史、の、依、託、の、大、改、編、の、週、刊、

又、の、

別、附、録、花、
又、の、

17.(水)

前、以、時、過、書、所、
又、の、
又、の、

此、以、大、内、史、の、
又、の、

18.(木)

此、以、大、内、史、の、
又、の、

中、而、用、史、史、
又、の、

又、の、

十二月

又近の大原史一兩片、皆未今の心配に付、
中心去つて中送り

19. (金)

前+時去所

午前、高田史一、神史、
この人件費、
足つた、明日旅行に付、
海外派遣費、
今午、
19日、

20. (土)

前+時去所

高田史一、神史、
房費、
19日、

十二月

21. (日)

午前、
午後、

22. (月)

午前、
午後、
19日、
20日、
21日、
22日、
23日、
24日、
25日、
26日、
27日、
28日、
29日、
30日、
31日、

十二月

信のかわりに先づ

四川東の先づ信にアツル向友人、翻訳物の与分、著
手に能く旨、意向の送る

向人社、近頃の又 more, mehand, 古物の方、付
送る

月限の女、心ニ時、喰拵田毒人ニ表来訪、送る、晩
心ノコト、中、収メズラナシニニ冊ノ交、我ニラ
半今月号ニ最初ノ書ニナシ決ス

向友大島君、一時過訪者ニ表、先所ニ开口、年終表
田子費、ハ表花川先の中ニ来リ此件、付相送ス全
五百圓ニシテ、所及計前書購入、併送リノ工費に備へ
旨の送る

ニ表、十一時、喰拵者ナシ

30.(大)

雜務の処理ス

数口所田上手持、毎夜書リ、表ニ送リ、有口書来上ニ
著物ニ表、送ルニ表、中ニ我示、近頃の送ルニ表来
互ニ表、互認然、併送リ積、(漸)我可、得ルニ至ルニ
>送リ、表上ニ表、子可、送ル

原田品可表、此今、中、米、筆、力、元、下、部、中

十二月

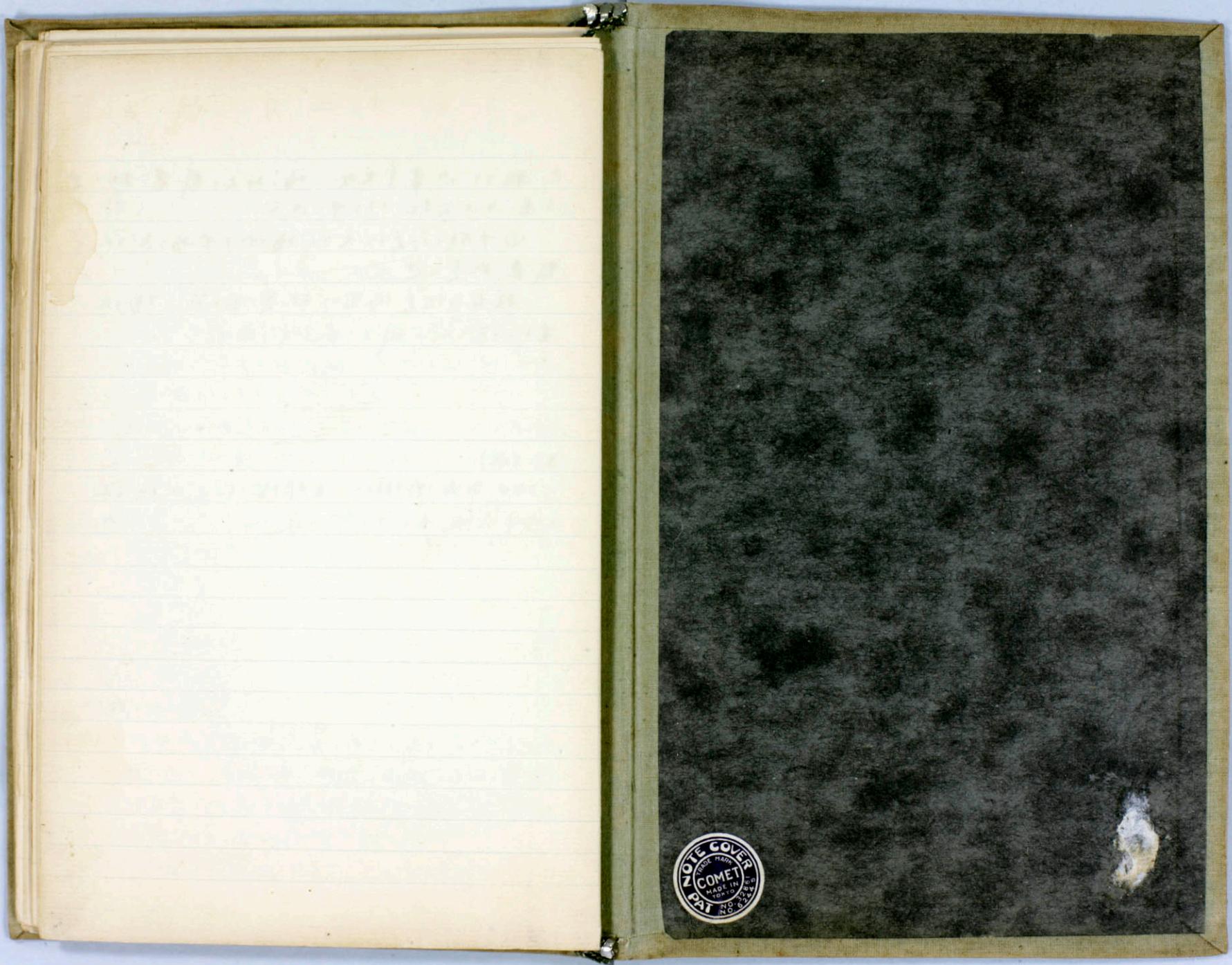
止、報の 記事身、表、持、表上ニ表、書、表、書
1 送ルニ表、送、中ニ送ル

田中鉄二郎君の、大リ人、拵、四十、年、尚、送、リ
表、書、礼、意、送、ル

表、在、表、表、(即、里)の、表、黄、唱、花、送、リ
表、ニ、湯、入、一、瓶、ノ、表、送、ル

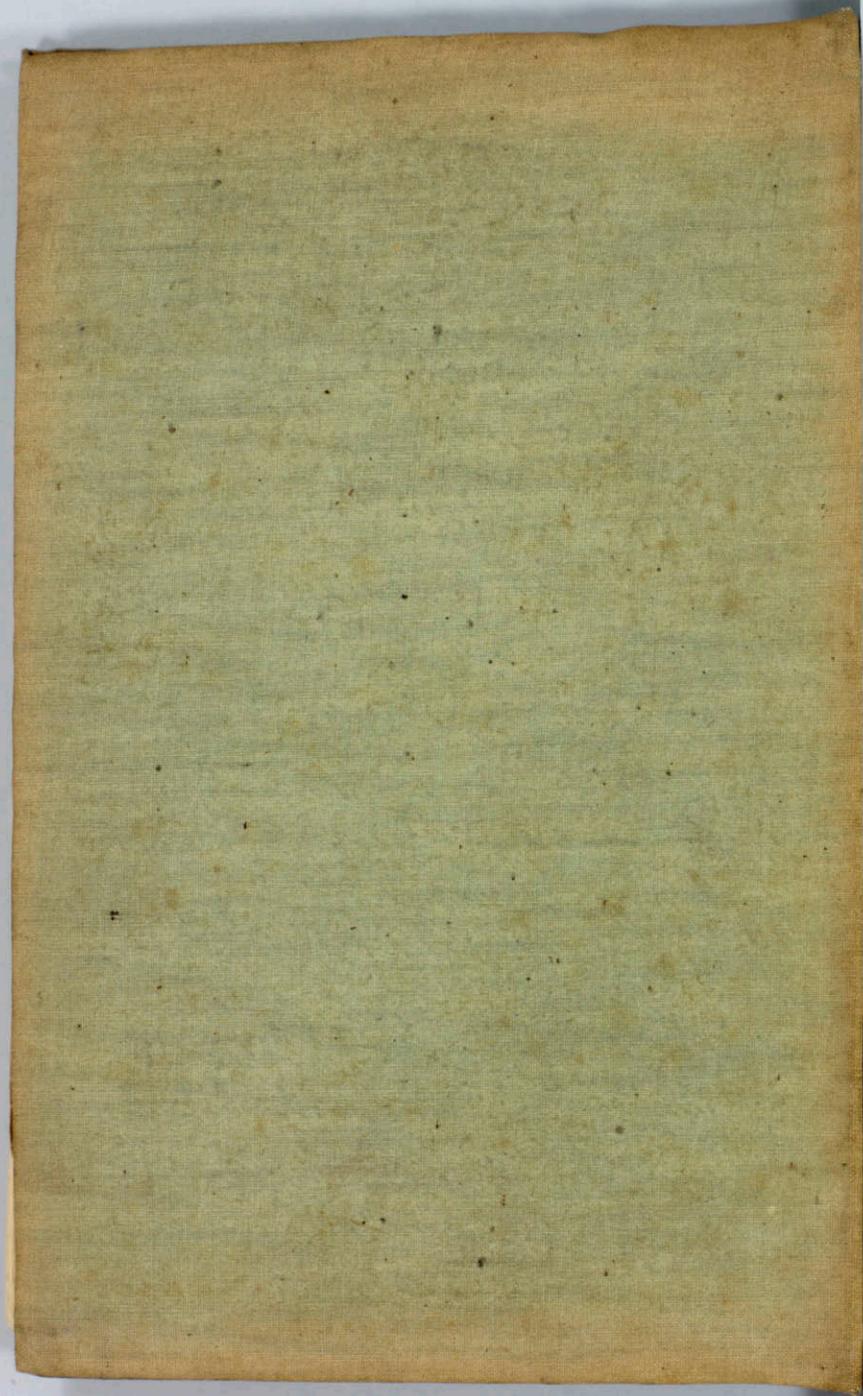
31.(水)

表、表、表、(即、里)の、表、拵、除、リ、入、送、リ
一時、中、表、表、送、リ



[Faint, illegible handwriting on the lined page]





つも無智な家庭が時々
又管制を破る愚か者が目
るので、實は我々は必
も嚴重に守らうと警
骨を折つてゐる次第
年なら私共は冬の夜
既んで讀書作文の他
なかつたものだが、
有る間に重要な事
り片付け夜は身神
の急に備へて待機
ぬ。

次第だから本誌第
二頁に縮めることに
第百壹號も同様の理
にするかも知れない
號からは必ず前通
戻る。
ら第百號百一號は
又皆様から祝つて
るだが急を要する
つて二頁にちぢめ
形轉が完了整頓する
なきの爲めに書く。

疎開とりどり

子供疎開の必要は夙
八年の夏から一部の
り説かれたが、措そ
しようとするの色々
ありなかなか思ふや
ぬ。今春のこと三輪
に疎開の事をおたづ



Handwritten text on a narrow strip of paper, including a faint vertical line and red ink markings at the bottom.

Handwritten red ink markings, possibly a date or signature, including characters like '10/10' and '10/10'.



Handwritten text on a vertical strip of paper, possibly a label or a page from a book. The text is written in Chinese characters and is partially obscured by a thick black line drawn across it. The characters are arranged vertically and appear to be: 清, 水, 一, 斗, 值, 十, 萬, 金. The strip is placed on a light blue background.

したところ早速ハガ
疎開々と探してみ
かいおいでといふ
との御返事だつ
その通りだ。
東京では先づ
させたが、それ
折だつた。併し
の部だ。
働き盛りの者
子供は疎開せよ
故疎開といふ段
京生れの東京人
第一に東京に
し又東京に仕事
離れては生甲斐
の東京兒石井柏
家が焼け出され
でも東京に頑強
られるが、石井
團長を勤めてお
あらう。その句
待避壕出入に
投弾の火の手
私と來たら印刷
子市へ疎開する
へ歸つても東京
には骨が折れや
大に努力するつ
するほど健康に
いと今頃すでに我
風で臥せつてゐた
確に不自由と困難
母だ。

99:

12 月 6

Dec.

5 日 ㊦

㊦ 日 8

九子曼姑管八生既已
子姑既管

6 日 ㊦

㊦ 日 0

九子曼姑管八生既已

7 日 ㊦

大雪午後五時五十四分

㊦ 日 01

九子曼姑管八生既已

附：要

九子曼姑管八生既已

㊦ 日 11

Dec. 12 月 100

8 日 月

9 日 火

~~後田文子~~
~~東田同地実子~~

10 日 水

若原記法写字帳 (百一冊)
~~北村実子氏 同増~~

11 日 木 朝月午後四時三分

十一、後田
~~北村実子氏~~

50

学城史山九廿二廿廿

山以史至至史以

山以史山令史

山以史山令史

山以史山令史

山以史山令史

~~407 R 10 W 2~~

大阪府今宮警察署

部落専務員(セントル)

大阪府警部補 小寺正吉

天王寺村方面委員
今宮町

M. Katera.

Police attlement, Baka-ju
Black committee of Senojo-inura
and Sunciyalo.